

あいさつ

2012年の展望

町民の皆さま、明けましておめでとございます。

平成24年の輝かしい新春をお元氣でお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、行政各般にわたり、一方ならぬご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。おかげで、各種の事務事業も停滞することなく、計画的・効率的に推進することができました。心から熱く感謝申し上げます。本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

昨年は日本にとって国難ともいえる未曾有の災害にみまわれました。ある学者が「戦後日本は」から「災後日本は」と言われる復旧・復興の時代が始まった」と語っておりますが、かつて経験したことのない国難だからこそ、被災地の皆さまが、一日も早く、生まれ育った故郷で平安な生活を送ることができるよう日本国中が痛みを分かち合い、国民ごぞつて支援をしていかなければならないと思っております。

さて、新年にあたって私の抱負ですが、社会経済情勢が混沌とし、不透明な時期ですので、先ずは、国の動向をじっくりと見定めながら、当町の施策に反映させていきたいと思っております。

中でも、少子・高齢化が進む鬼北町にあつて、農林商工の振興と保健・福祉・医療の充実と強化は急務であると思っております。子どもたちに夢を、お年寄りに安らぎを、そして若者に希望を与えることのできる具体的な政策を打ち出して行きたいと意を強くしているところです。

さらに、健全財政を維持するための行財政改革を始め、町民総ぐるみで取り組む「協働のまちづくり」を進展させるためにも、積極的に地域に出向き、町民の皆様とのコミュニケーションづくりを努めます。

そして、町民の皆さまのご期待に報いるために、まずは私自身が、健康に留意しながら情熱と意欲をもって、日々精進していかなければならないと自戒しております。本年も誇りと愛着を持っていただける「ふるさと鬼北町づくり」のため、全職員一丸となつて各種施策の推進と充実に努めていきますので、引き続き町民の皆さまのご支援とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、今年一年が町民の皆さまにとって、明るく幸せな年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとします。

鬼北町長
甲岡 秀文